資料１－２

第３回
SS過疎地研究会資料

2022年2月21日

コスモ石油マーケティング株式会社

カーボンニュートラルの中進めている新事業等について
（１）リテール販売・SSの今後の方針

COSMO

Oil＆New
for COSMO STATION 2022
リテール販売方針

エネルギーをきっかけとしたお客様との繋がり強化
デジタルを活用したビジネスモデルの高度化
脱炭素ソリューション提供による新たなお客様との繋がり創出

＜特約店＞

【特徴】
- ＳＳ事業
- 他事業展開
- 地域のつながり
- 資金・資産（不動産・ＳＳ）
- 人材（経営者、後継者）
- 顧客基盤

＜SS＞

【特徴】
- 販売量（集客力）
- 立地
- 面積
- 設備
- 技術力

カーボンニュートラルの中進めている新事業等について
（２）20XX年 社会・地域・環境に寄り添いコスモネットワークが共生する街

COSMO

カーボンニュートラルの中進めている新事業等について
（３）取組み施策

COSMO

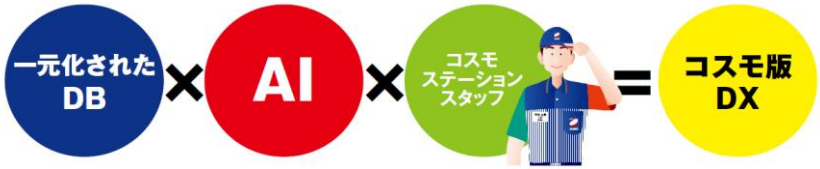
1. Carlife Squareアプリ

・アプリ決済、カーケア予約、洗車プリペイド機能、車検見積もり等の機能を中心にお客様にはデジタルによる利便性強化、SSには顧客データ確保と活用によるデジタルを活用したビジネスモデル構築を提供。

クルマにイイコト、あつまるところ。
CarlifeSquare

3. デジタルステーションシステム

・多様なデータベースをDSSへ一元化しAIによる的確な商材通知によりSSのデジタル化、生産性向上を実現。



経験の浅いスタッフも効率良く店頭活動へ

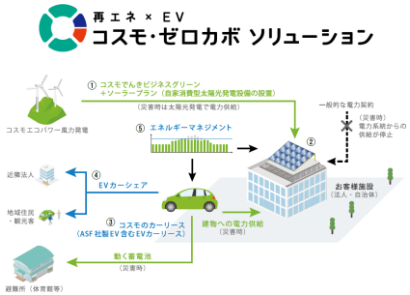
2. コスモでんき

・燃料油以外のエネルギーでの繋がりを志向し、家庭向けに4プラン、5コースの多様なプランを提供。
・法人向けではグループ会社の風力発電を活用した「コスモでんきグリーン」を提供し、カーボンニュートラル社会実現を志向。

4. コスモ・ゼロカボソリューション

・風力発電事業、電気小売り事業、カーリース事業、カーシェア事業、COSMO SSというアセットを組合せ、自治体と企業の脱炭素化を効率的にワンストップで解決。

①再エネ導入
②太陽光パネルオプション(PPA)
③カーリースでEV導入
④カーシェアでEV活用
⑤EV充放電をエネマネ

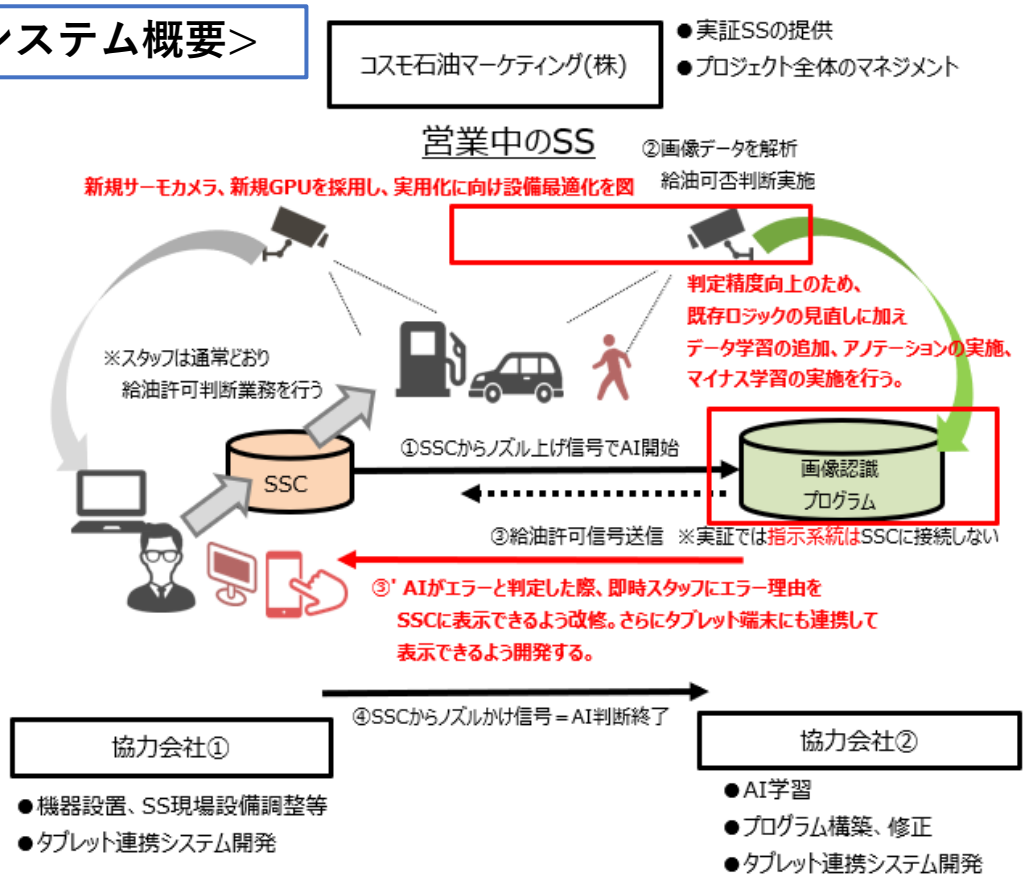


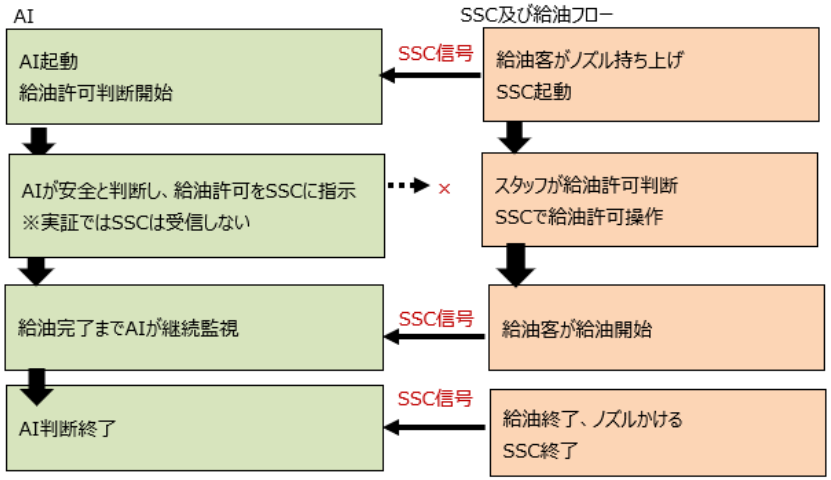
系列SSの事業継続に向けた取組事例
（1）AI給油許可実証実験

COSMO

<目的>
労働人口減少に伴うSSスタッフの確保難や燃料油需要減少に伴う後継者難等を踏まえ、SSの人員効率化、少人化オペレーションモデルを可能とすべくAIによる給油許可業務の自動化を目指し、技術開発を継続。

<システム概要>





<開発工程>
基礎システムの構築
↓
商用環境での検証
↓
顧客行動制限方法の検討
↓
AI判断結果の見える化ツール開発
↓
21年度　AI判定制度の向上及び機器構成の最適化
タブレットとの連携

系列SSの事業継続に向けた取組事例
（２）過疎地域SSの事業継続

COSMO

住所：　新潟県岩船郡関川村大字宮前１３７－１
原単位：ガソリン ３０KL/月
経緯　：2021年3月15日に廃止となったSSの譲渡について公募を行われ、
地域住民の要望に応える形で、当該SSが継承され過疎地でのSS継続がなされた。

2021年6月1日オープン：関川SS